

単元名	(選択単元)さまざまな土地のくらし「地形」	配当時間	5時間
単元の目標	(1) 人々の生活や産業などが自然環境に適応する形で営まれていることを理解するとともに、地図帳などの資料を活用して調べ、振り返りシートなどにまとめることができる。 (2) 地形に着目して、低い土地に暮らす人々の生活を捉え、低い土地の地形条件と人々の生活や産業などとの関連について考え、表現することができる。 (3) 学習問題の解決に向けて意欲的に追究するとともに、低い土地の中で努力や工夫をして暮らしている人々について、自分の生活と関連付けて考えようとする。		

標準的な展開例

05030104_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 低い土地の様子と自分の住んでいる地域の様子を比べ、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 木曽三川公園の航空写真や輪中の断面図などの資料を見て話し合い、学習問題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> 大きな川が3本流れている 0mよりも低い土地がある ★低地に暮らす人々は、どのような工夫をして生活しているのだろう 学習問題について予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 農業に川の水を利用している 洪水から暮らしを守る工夫をしている 予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> 調べる内容…地形、生活、産業 調べる方法…教科書、インターネット 表現の仕方…振り返りシート <p>2 低地に暮らす人々の工夫や努力について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水害の発生件数の移り変わりについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 1751年～1800年の発生件数が多い 1901年以降、ほとんど発生していない 水害から暮らしを守る工夫を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> 1887年～1912年の間に、治水工事を行った 石垣の上に家を建てたり、水屋という避難場所を建てたりした <p>3 輪中での農業について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ほり田と現在の田を比べて、気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 今の田と違って、いろんな形の田がある 水路が田の横を通っている 昔の米作りの苦労について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> 洪水に悩まされた 収穫が難しいこともあった 現在の農業について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> 農地が整備され、大型の機械が使えるようになった 排水機場ができたことで、米以外の作物も作られるようになった <p>4 現在の津市の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水害に備えた取組について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> 水防倉庫が建てられている 国や県が川の水位を監視している 木曽三川の様子について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> 大きな公園ができている 川でボートの試合が行われている <p>5 単元の学習を振り返り、低地に暮らす人々の生活の工夫を振り返りシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料から津市の特徴をつかませ、自分たちが暮らす地域との違いについて話し合わせる。 川に囲まれた中で、昔から人が暮らしていたことに触れ、水との戦いがあったことを補足する。 【評】低地に暮らす人々の工夫について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 教科書P.46～53で、学習の内容を大まかに捉えさせる。 教科書P.48「水害の発生回数のうつり変わり」から、数値の変化を読み取らせる。 水害が激減した理由を予想させる。 教科書P.48の本文から、工事の概要をつかませ、水害の減少との関連を考えさせる。 教科書P.49を基に、水屋について触れる。 【評】水害を減らす取組を調べる活動を通して「知識・技能」を評価する。 教科書P.50「60年ほど前まで残っていたほり田」の写真を基に、現在の田との違いを話し合わせる。 教科書P.50の図や本文を基にして、ほり田の仕組みを確認し、当時の農作業について調べさせる。 土地の改良や排水機場の整備について、教科書P.51の各種資料で確認させる。 【評】輪中での農業を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 水害に備えた取組について調べる。 水防倉庫が建てられている。 国や県が川の水位を監視している。 現在では、人々が水や自然を有効に活用しながら、暮らしをより豊かにしていることに気付かせる。 教科書P.55のような形式で、『さまざまな土地のくらし「気候」』と併せて行わせてもよい。 自分の住んでいる地域と比べてまとめさせてもよい。 【評】振り返りシートにまとめる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

本単元は選択単元であり、標準的な展開例では「低地」を取り扱っている。教科書P.56～63の「高い土地のくらしー群馬県嬭恋村ー」を活用して「山地」を選択してもよい。